土岐市都市計画マスタープラン（案）　概要版

1 はじめに

（1）.都市計画マスタープラン改定の趣旨

近年、人口減少・少子高齢化や都市基盤・施設の老朽化、自然災害への意識の高まりに加え、近隣市でのリニア中央新幹線新駅の整備など、本市を取り巻く状況は大きく変化しています。

こうした社会情勢の変化や第七次土岐市総合計画の策定を踏まえ、令和３年３月に改定した「土岐市都市計画マスタープラン」について、将来を見据えた持続可能な都市づくりを推進するため、中間見直しを行います。

2 都市づくりの理念と目標

（1）.本市の目指す方向性

本市が目指す方向性は、第七次土岐市総合計画に掲げるまちの将来像に準じ、以下のとおりとします。

第七次土岐市総合計画における「まちの将来像」

人を育み　伝統を紡ぎ　いきいき暮らせる陶（とう）のまち

（2）.都市づくりの課題

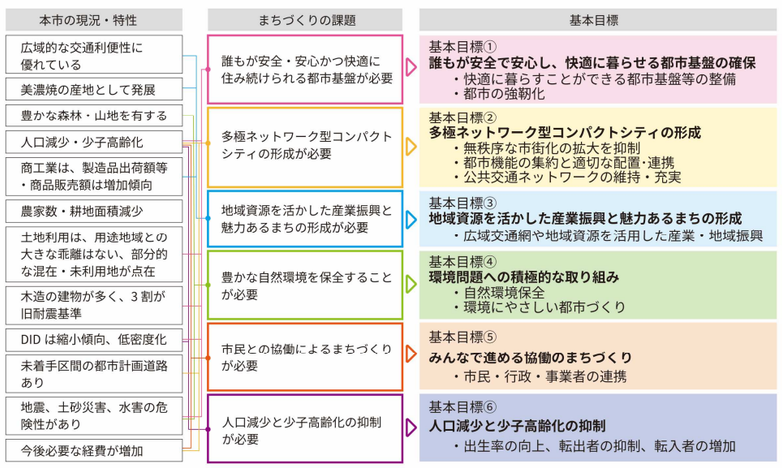
人口減少や少子高齢化の進行、厳しい財政状況などの社会情勢や本市の現状を踏まえ、本計画における都市づくりの課題を以下のとおり整理します。

土岐市のまちづくりの課題

① 誰もが安全・安心かつ快適に住み続けられる基盤が必要
② 多極ネットワーク型コンパクトシティの形成が必要
③ 地域資源を活かしたまちの活力再生とさらなるにぎわいの展開が必要
④ 豊かな自然環境を保全することが必要
⑤ 市民との協働によるまちづくりが必要
⑥ 人口減少と少子高齢化の抑制が必要

（3）.都市づくりの基本目標

本市のまちづくりの課題を踏まえ、以下の基本目標を設定します。



3 都市整備の方針

（1）.都市施設整備の方針

①道路の整備方針

・都市の骨格を形成する明確な道路体系の構築を目指し、市内の円滑な移動を促進するとともに、広域的な道路体系の整備を促進します。
・新規道路の整備だけでなく、既存の道路についても必要な機能強化を図ることにより、集約型都市構造の実現や環境負荷の軽減へつながる効率的なネットワークの確立と安全性の確保を目指します。

②公共交通の整備について

・行政と公共交通事業者との連携のもと、鉄道とバスのアクセス性を高めるなど、ネットワークの強化及び利便性の向上を図ります。

③公園・緑地整備について

・住区基幹公園は、シンボル的公園となる都市基幹公園や個性的な公園づくりを進めます。既存の公園は長寿命化を図ります。
・機能や需要に応じて各公園の存続・廃止などの見通しを検討します。
・河川のもつ親水性、都市の中のオープン空間等のアメニティ特性を十分に活用し、都市の中の公園・緑地としての整備を図ります。

④河川整備について

・各河川の流下能力を十分に配慮し、新たな開発に対しては河川の負担を考慮し、河川改修との整合性を図ります。
・集中豪雨による河川の氾濫から市民生活を守るための河川整備を行うとともに、護岸の機能維持に努め、安全で快適な生活環境の形成に努めます。
・河川の維持・保全に努め、水の浄化・清流の維持、魅力的な親水空間としての整備に努めます。

⑤上下水道の整備方針

・合併浄化槽等も含めた汚水処理施設の早期かつ効率的な整備を進め、全市水洗化を目指します。
・土岐市水道事業ビジョンに基づき、市民生活の重要な基盤として、水質管理を徹底しつつ、安全で良質な水の安定的供給を目指します。

（2）.自然的環境の保全及び都市環境形成の方針

①自然環境の保全の方針

・山林については、水源涵養機能、災害防止機能、地球温暖化防止機能などの多面的な機能を維持するように適切な保全を図り、自然レクリエーション・交流の場として活用に努めます。
・河川については、生活雑排水の直接流入を防止し、水質の維持・向上に努め、鳥・魚・昆虫・植物等の様々な生物が生息する生態系を考慮します。
・農地については、里山と一体となった景観を形成する基盤であり、保水・遊水機能を保持しているため、農業生産機能の多様な展開を図ります。

②都市環境形成の方針

・生態系保全型の水辺空間や樹木・緑地づくりを市全体に広げていくと共に、環境共生型の社会づくりへの取り組みを一層充実します。

（3）.都市防災・防犯の方針

①上下水道の整備方針

・治山・治水の基本となる森林機能の一層の強化を図るため、「土岐市森林整備計画」に基づき、森林の整備に努めます。
・無秩序な宅地開発等を抑制するとともに、農地、保安林、砂防指定地、土砂災害警戒区域などは、災害防止の観点から保全し開発を抑制し、必要な開発等を行う場合には、雨水・土砂流出の抑制に努めます。
・水害防止対策として、河川改修を進めるとともに、農業用ため池の活用を図り、貯水機能の維持を図ります。

②市街地内外の都市基盤における防災・防犯対策

・基盤未整備の既成市街地では、基盤整備や道路・橋梁の防災対策、生活道路の拡幅に努め、避難・消防活動の円滑化を図ります。
・緊急時の避難ルートや孤立地域への代替ルートを確保し、災害に強い道路ネットワークの形成を図ります。
・自主防犯活動など地域コミュニティの形成や監視体制の強化により、市民の防犯に対する意識の向上を図ります。

③防災体制の確立

・災害時の防災行政無線、SNS、防災・行政情報アプリ等による情報伝達手段の多重化・多様化を図ります。
・「洪水・土砂災害ハザードマップ」等により浸水や土砂災害の恐れのある区域を明示し、DIG 等を通じて危険箇所や避難所の周知を図ります。
・自主防災組織の育成・訓練、資材配備等を進め、高齢者や障がい者など災害時に支援が必要な市民にも配慮した避難体制の強化を図ります。

④地震対策の強化

・避難場所となる公共施設の耐震診断・耐震補強を進め、耐震性の向上を図ります。木造住宅の耐震診断・耐震補強を促進します。

（4）.都市景観形成の方針

・恵まれた自然環境や交通環境、伝統的な陶磁器産業等を活用した景観形成を進めることによって、日常生活の質の向上と交流機会の拡大を図り、市民・事業者・行政が一体となって景観づくりに取り組みます。

（5）.市民と行政の協働によるまちづくりの推進

①協働まちづくりの仕組みの構築

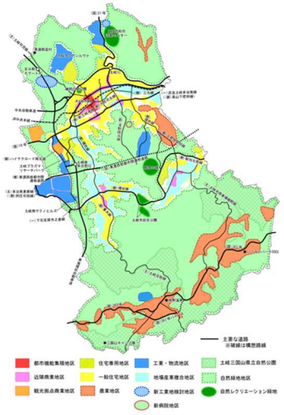
・市民の意見を聴き、政策に反映する機会を増やすなど、市民ニーズの把握に努めます。地域の団体等のネットワークづくりや情報交換を支援し、まちづくり活動の全市的な広がりを促進します。

②市民による身近な都市施設の維持・管理

・都市施設の清掃・管理への市民や地元組織・NPO 等の参画を促進します。都市施設の維持・管理を支援するアダプト制度の導入を検討します。

(6).土地利用の方針

本市では、集約型都市構造の実現に向け、低未利用地の活用など既存市街地の再整備を優先して行い、新たな産業用地の確保や居住環境の形成等のために必要となる場合には、周辺の自然環境や営農環境等との調和に十分に配慮し、農林漁業に関する土地利用との調整を図った上で、適切な土地利用に誘導します。土地利用の方針図を右に示します。



4 地域整備の方針

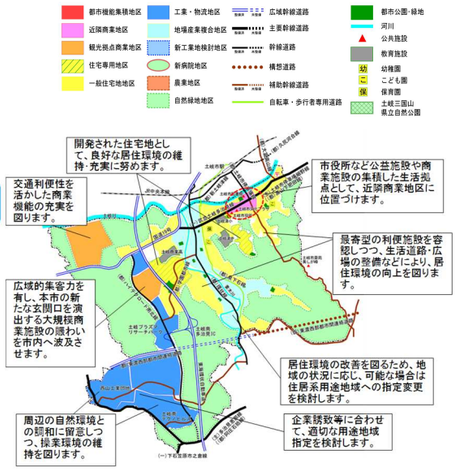
(1).土岐津地域

◆**まちづくりの目標**

古くからある市街地と新たな賑わい拠点が共存する地域の形成

◆**まちづくりの方向性**

・丘陵地と市街地との連携を強化する交通網の整備
・地場産業集積地における居住環境の改善と活性化
・土岐プラズマ・リサーチパークをはじめとする大規模開発を活用した産業機能や広域交流機能の強化



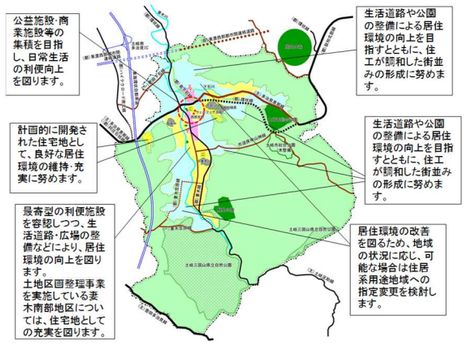
(2).西陵地域

◆**まちづくりの目標**

歴史・文化の保全と陶磁器産業が融合した居住空間を有する地域の形成

◆**まちづくりの方向性**

・市街地間を環状に連絡する交通体系の整備
・地域における生活自立性を高めるための都市機能の強化
・地場産業集積地における居住環境の改善と活性化



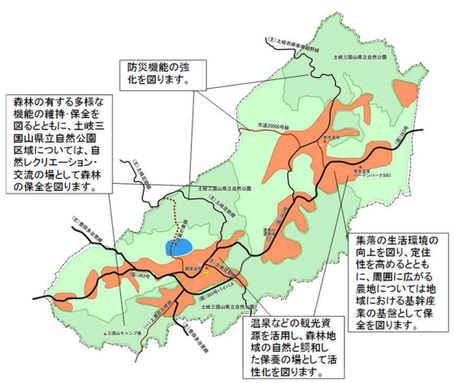
(3).濃南地域

◆**まちづくりの目標**

豊かな自然環境の保全と活用による大都市近郊の身近な保養・レクリエーション地域の形成

◆**まちづくりの方向性**

・豊かな森林資源の保全と活用
・地域を支える定住人口を確保するための集落地における居住環境の整備
・(国)363 号バイパスの整備や観光資源の活用による広域的な交流の活性化



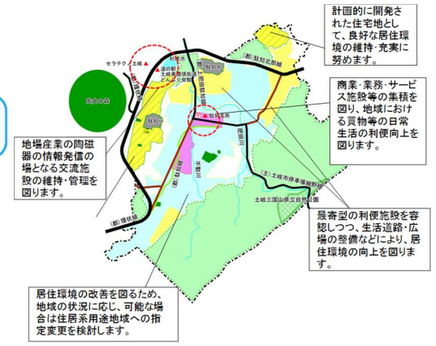
(4).駄知地域

◆**まちづくりの目標**

快適な居住空間と陶磁器産業が調和した地域の形成

◆**まちづくりの方向性**

・生活道路から幹線道路へアクセスする道路の整備
・地域における生活自立性を高めるための都市機能の強化
・地場産業集積地における居住環境の改善と活性化
・美濃焼の情報発信地としての機能強化



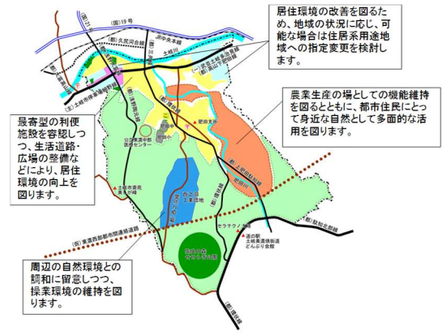
(5).肥田地域

◆**まちづくりの目標**

都市機能と自然が調和した田園風景のある地域の形成

◆**まちづくりの方向性**

・市街地間を環状に連絡する交通体系の整備
・地域における生活自立性を高めるための都市機能の強化
・地場産業集積地における居住環境の改善と活性化



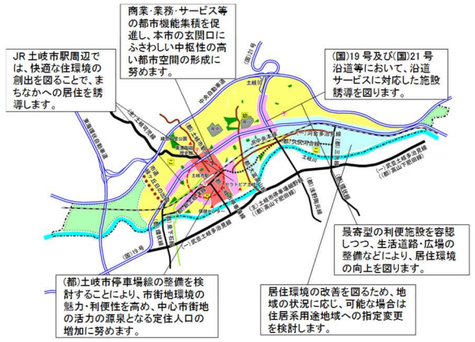
(6).泉地域

◆**まちづくりの目標**

土岐市のゲートタウンにふさわしい都市機能と賑わいのある地域の形成

◆**まちづくりの方向性**

・JR 土岐市駅周辺の都市機能の強化とアクセス性の向上
・まちなか居住の促進による JR 土岐市駅周辺人口の定住化
・地場産業集積地における居住環境の改善と活性化
・本市のゲートタウンにふさわしい賑わいの形成



(7).泉北部地域

◆**まちづくりの目標**

豊かな自然環境と産業・居住・レクリエーション機能の調和した地域の形成

◆**まちづくりの方向性**

・広域幹線道路 IC に近接した産業ゾーンの形成
・緑に囲まれた居住環境の維持・形成
・豊かな自然を活用したレクリエーションゾーンの形成

